

平成25年4月1日に「一般財団法人 橋梁調査会に」名称変更しました。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

当調査会は、橋梁に関する技術、経済、環境その他の問題についての調査研究、知識の普及を行い、橋梁事業の円滑な発展を図ることによって、国民経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的とした財団法人です。

当調査会は、橋梁の計画・設計・施工・管理に至る長年の技術の蓄積を基に、特定の利益に偏しない公正・中立の立場で以下の事業を行います。

1. 橋梁に関する計画、設計、施工法等の調査・研究・開発
2. 橋梁に関する経済、環境等の調査・研究・開発
3. 橋梁の性能評価、審査、検査に関する調査・研究・開発
4. 橋梁の保全に関する調査・研究・開発
5. 橋梁に関する研修会、講習会等の実施、技術の指導その他の人材育成
6. 橋梁に関する情報・資料の収集・管理及び提供
7. 橋梁に関する海外事情の調査及び国際協力
8. 橋梁技術に関する研究開発等への助成
9. 道路橋点検等に関する技術研修、試験実施及び資格証明

沿革

昭和53年 4月 財団法人 海洋架橋調査会設立
平成16年 4月 財団法人 海洋架橋・橋梁調査会に改組
平成25年 4月 一般財団法人 橋梁調査会に改組

所属技術者等（平成29年 5月 1日現在）

- 技術者数 109名
- 工学博士 10名
- 技術士 80名
- R C C M 24名
- 土木学会特別上級技術者 5名
- 一級土木施工管理技士 76名
- J B E C 橋梁検査(診断)技術研修修了者 90名
- 米国連邦道路庁(FHWA)公認 橋梁安全点検研修会修了者 6名
- 道路橋点検士 89名

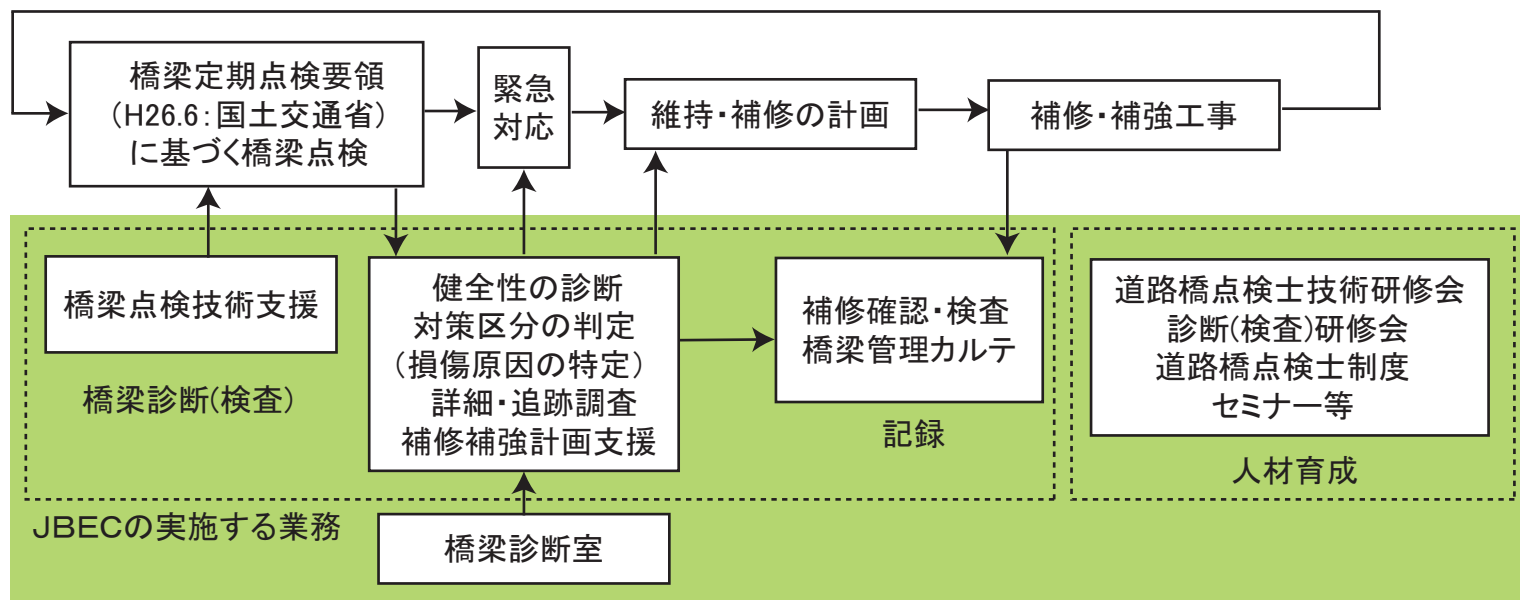
組織

本部	(総務部、企画部、調査部)		
	〒112-0013	東京都文京区音羽2-10-2 音羽NSビル8階	03-5940-7788
東北支部	〒980-0014	仙台市青葉区本町2-1-29 仙台本町ホンマビルディング10階	022-221-5301
関東支部	〒330-0844	さいたま市大宮区下町1-42-2 TS-5BLDG.5階	048-657-6085
北陸支部	〒950-0965	新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 8階	025-281-3813
中部支部	〒460-0002	名古屋市中区丸の内1-16-15 名古屋フコク生命ビル5階	052-218-3151
近畿支部	〒540-6591	大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル12階	06-6944-8551
中国支部	〒730-0013	広島市中区八丁堀15-10 セントラルビル5階	082-511-2203
四国支部	〒760-0026	高松市磨屋町3-1 マニユライフプレイス高松6階	087-811-6866
九州支部	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東2-9-1 東福第2ビル2階	092-473-0628
北海道駐在所	〒060-0004	札幌市中央区北4条西7-1-5 NCO札幌ホワイトビル8階	011-213-1867

1. 橋梁診断業務

- ◆「橋梁定期点検要領」（平成26年6月：国土交通省）に基づく橋梁診断業務を全国的に実施しています。
- ◆全国の橋梁の損傷事例を多数保有するとともに、最新のデータを収集しています。
- ◆橋梁の計画、設計、施工、管理に至る一貫した実績を生かし、公正・中立の立場で橋梁診断を行うと共に、詳細・追跡調査、補修補強計画支援、橋梁管理カルテ等のデータ整備支援等を行います。
- ◆「橋梁定期点検要領」に基づく「道路橋点検士技術研修会」等、橋梁の点検・検査に関する人材育成について長年の実績を有します。

橋梁診断業務の流れ



人材育成

○道路橋点検士技術研修会(旧橋梁点検技術研修会)

「橋梁定期点検要領 H26.6 国土交通省」に基づく「道路橋点検士技術研修会」等を定期的に開催（4～9回／年のうち1回は道路管理者向け）（H26より）

橋梁点検技術研修会・道路橋点検士技術研修会修了者 12,520名
（平成6年度～28年度累計）

○道路橋点検士制度

上記研修会を修了し、かつ所定の実務経験を有する者を「道路橋点検士」として認定する制度を創設

国土交通省「民間登録資格（公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に関する技術者資格）」として登録（平成27年1月）

実務経験を登録要件としない「道路橋点検士補」を新たに創設（平成27年10月）
道路橋点検士登録者数 5,046名 道路橋点検士補登録者数 628名（平成29年4月1日現在）



道路橋点検士技術研修会
（現地実習）

○JBEC職員の内部研修として「橋梁診断技術研修会」を定期的に開催（1回／年）

橋梁診断技術研修 修了者 306名（平成9年度～平成28年度累計）

○国土交通省、地方自治体等の技術者を対象とした橋梁点検講習会等に講師を派遣

2. 橋梁の維持・補修に関する検討業務

- ◆橋梁検査（診断）業務により得られた知見及び橋梁の計画・設計・施工・管理に至る一貫した業務の実績を活用し、高度・特殊な技術を要する橋梁の補修・補強に関する検討・立案を行います。
- ◆いわゆる「三大損傷」など典型的な症例の対策及び、耐震補強などの高度・特殊な橋梁の補修・補強対策等について豊富な実績を有し、有識者委員会等、専門家集団による高度な検討を行います。

橋梁における三大損傷調査等

全国の三大損傷（疲労、塩害及びASR（アルカリ骨材反応））に関する詳細調査、補修・補強対策の検討等に豊富な実績を有します。

<受託実績>

- ・鋼製橋脚隅角部疲労亀裂損傷に関する原因究明及び補修・補強方法の検討（関東・中部・近畿・中国・九州地方整備局）
- ・鋼床版の損傷の詳細調査及び対策の検討（関東・中部地方整備局）
- ・塩害による損傷に関する原因究明及び補修・補強方法の検討（関東・北陸・近畿地方整備局）
- ・アルカリ骨材反応による損傷に関する原因究明及び補修・補強方法の検討（中部・近畿地方整備局）

高度・特殊な橋梁の補修・補強対策に関する検討

耐震補強など、高度・特殊な橋梁の補修・補強対策について、豊富な実績を有します。

<受託実績>

- ・耐震補強方法の検討（関東地方整備局等）幸魂大橋他
- ・震災等により損傷した橋梁の詳細調査及び補修・補強方法の検討（北陸・中部・近畿・九州地方整備局）
- ・洗掘を受けた橋梁に対する補修・補強方法の検討（中部・九州地方整備局）
- ・損傷橋梁の緊急点検及び、補修・補強方法の検討（中部・近畿地方整備局）木曾川大橋、浜名大橋、山添橋他
- ・長寿命橋梁の維持管理方策の立案（関東・北陸・中部・近畿・九州地方整備局）日本橋、万代橋他



震災により損傷した橋梁の詳細調査

3. 橋梁の設計施工法等に関する検討業務

- ◆本四架橋等国内外の長大橋に関する検討で得られた計画・設計・施工・管理に至る一貫した知見を活用し、橋梁の設計、施工法に関する検討を実施します。
- ◆離島架橋に関する設計・施工法の検討及び社会経済調査等について、有識者委員会等、専門家集団による高度な検討を行います。

橋梁の設計、施工法に関する調査及び検討

<受託実績>

- ・湾岸部の長大橋梁に関する検討（近畿地方整備局）
- ・個別特殊橋梁の施工対策に関する検討（関東地方整備局等）

離島架橋の設計・施工技術及び社会経済調査

<受託実績>

- ・離島振興策として計画・実施されている橋梁について、技術検討委員会の運営、設計・施工法に関する調査及び社会経済調査を実施（沖縄総合事務局、宮城県、広島県、愛媛県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、宇和島市、伊平屋村・伊是名村等）



伊良部大橋

4. 橋梁関連発注者支援業務

経験豊富な技術者を橋梁建設現場にアドバイザーとして配置し、公正・中立の立場で発注者支援を行います。総合評価方式等の新たな発注方式において、公正・中立の立場で発注者支援を行います。

橋梁設計アドバイザー業務・橋梁現場アドバイザー業務

<受託実績>

アドバイザーによる橋梁の設計/製作/施工等に関する発注者支援

（東北・中部・近畿・九州地方整備局、宮城県、徳島県、長崎県、宇和島市、岡山県道路公社、広島県道路公社、独立行政法人水資源機構）

総合評価方式等の新たな発注方式における発注者支援業務

<受託実績>

総合評価方式における発注者支援（関東・中部・中国・四国地方整備局、宮城県、宇和島市）

5. 自治体支援業務

地方自治体の抱える橋梁のメンテナンスをはじめとした様々な課題に対し、解決のための支援を行います。

- ◆道路橋点検結果の助言 ◆健全度判定会での助言 ◆現地調査・現地研修での助言
- ◆措置が必要な道路橋に対する対策方針に関する助言 ◆修繕等設計業務の工法選定の助言

<受託実績> (島根県、京都府)

6. 社会インフラ用ロボット開発導入等支援業務

橋梁のメンテナンスを取り巻く社会情勢をうけ新技術を活用したインフラマネジメントの開発を支援します。

- ◆国土交通省と経済産業省が導入を推進する、社会インフラの維持管理等へのロボットの開発導入について、橋梁分野での現場検証、評価等の支援を行います。
- ◆橋梁点検の合理化のための装置・設備等の開発・導入に関する検討を実施します。



現場検証に参加したロボットの例

7. 技術基準検討業務、技術開発業務、その他

以上の業務の他、橋梁に関する高度な技術を活用し、技術基準の検討、技術開発等様々な業務を行います。

○出版(主なもの)

- 既設橋梁のノージョイント工法の設計施工手引き(案)
- 道路橋の補修・補強計算例 (H19.11)
- 道路橋の補修・補強計算例Ⅱ (H26.11)
- 保全技術者のための橋梁構造の基礎知識[改訂版] (H27.4)

○海外調査

橋梁に関する国際会議等に参加し、最新情報を収集しています。

<主な実績>

- U J N R (日米橋梁ワークショップ)
- P I A R C (世界道路会議)
- R E A A A (アジア・オーストラレイシア道路技術協会)
- I A B S E (国際構造工学会)
- f i b (国際コンクリート連合会)
- I A B M A S (橋梁の管理と安全に関する国際協会)
- 吊構造橋梁管理者会議

○橋梁研究開発助成

橋梁技術に関する研究家発助成及び国際会議への参加に関する助成を行っています。



世界道路会議の道路橋セッションの状況

8. 講演会、セミナー等の開催

◆賛助会員対象特別講演会

- H25. 4. 8 第1回 国土の強靱化と今後のインフラ整備
- H26. 4. 16 第2回 安倍政権の国土強靱化計画等 他
- H27. 5. 11 第3回 我が国の道路政策を考える 他
- H28. 4. 21 第4回 「公共事業」から「インフラ・ストック」へ 他
- H29. 4. 26 第5回 防災・減災における科学技術と専門家 他

◆橋梁メンテナンスセミナー(賛助会員限定)

- H25. 9. 19 第1回 「鋼橋の劣化・診断」
- H26. 6. 5 第2回 「床版」
- H27. 2. 3 第3回 「コンクリートの塩害」
- H27. 6. 23 第4回 「耐候性鋼橋」

◆国際シンポジウム

- H25.11.22 第1回 「世界の橋梁建設とメンテナンス」
- H26.11.16 第2回 「世界の海峡連絡と橋梁のメンテナンス」
- H27.10.30 第3回 「世界の橋梁建設とメンテナンス」
- H28.11.25 第4回 「世界の橋梁建設とメンテナンス」